

常任委員会レポート

総務

ふるさと納税の返礼品は

質問 ふるさと納税をしていた方への返礼品の内容はどのような物か。

回答 現在27品目あり、その中から選んでいた。豚肉や馬刺しが人気である。

災害時の監視カメラの活用状況は

質問 河川監視カメラは、災害時にタブレットパソコンで画像が見られるのか、また、カメラは、どこに設置してあるのか。

回答 現在は災害対策本部で情報収集して、住民に避難等を伝えている。今は見ることができないが、LINE(ライン)を活用し画像等のやり取りが出来ないか、検討中である。また、設置カメラは8か所あり、上井手取水口、下井手取水口、六里木橋(大林)、仮宿橋(平川)などである。

熊本地震で被災された家庭への支援

質問 復興基金事業の民間賃貸住宅入居支援事業とは、どのような内容の補助か。

回答 応急的に仮設住宅やみなし仮設住宅に住んでおられる方が、民間の賃貸住宅へ移る場合に、契約に必要な費用として一律20万円が支給される。

道路状態起因の交通事故への賠償金は

質問 賠償金は、今後の見込み分ということか、そうであれば事故が起こりうる状況を放置しているのはどういう事か。

回答 今年度は地震の影響で事故件数も増え、賠償額が予算を消化する。ケガをされた事故もあり住民の方々に大変ご迷惑をおかけした。事故発生後、速やかに安全対策を実行し、早急に本工事に入る計画である。

文教厚生

子育て・健診センターへの非常用発電機設置について

質問 停電時に井戸水を汲み上げて使用するということか。量的に十分なのか。

回答 井戸は以前から使用しており、地下水の量も期待できる。

質問 同センターの今後の防災拠点としての位置付けが定まっていない。防災公園である中央公園の活用も今後の課題として残されているのになぜ急にこうした話が出てくるのか。復興まちづくり計画の策定を待つべきではないか。



センターの受水槽

回答 社会資本整備総合交付金事業のメニューに非常用発電機設置があり、既存の井戸があるなど同センターでは条件がそろっていた。色々な条件

の中で場所を検討した結果である。

待機児童について

質問 待機児童の現状は。

回答 現在50人。うち0歳から2歳までが9割。毎月20人程の入所は行っている。

質問 どれぐらいの期間、待機されているのか。

回答 一年以上の方もおられる。

質問 対策の検討は。

回答 保育士不足が課題。保育士が確保できれば受入れの定員も増やせると思う。

「教職員定数と義務教育費国庫負担制度の改善に関する請願」については継続審議となりました。

お詫びと訂正

議会だより第81号に、「復興仮設住宅の住宅維持費の修繕料、1戸あたり20万円の根拠は何か。」と記載しましたが、町営住宅の間違いです。訂正してお詫びします。

経済建設

企業誘致の現状

質問 地震後も、大津町への立地が増えているが、企業が大津町に魅力を感じている理由は、工場等振興奨励補助金、立地場所、または人口増加に伴う雇用確保のしやすさのどれか。

回答 感覚的なものになるが、一番は立地場所になると思う。特に交通の便の良い菊池都市、嘉島町、熊本市などで立地が増えており、また、大企業があればその周辺に中小企業が集まり、中小企業が集まれば大企業にとっても部品などを調達しやすくなり、相乗効果で立地が増えていると感じる。

また、補助金が、最後の一押しとなったこともこれまでに数社あった。それとともに、現在は景気が良いため、増設が続いている。

多面的機能支事業(農地・水)等の現状

質問 地域活性化推進のための、協働活動(区役・地域活動・農地・水路等)に対する補助金を支援する多面的機能支事業に取り組んでいる組織はどの程度あるか。

回答 本年度は29組織がある。活動されていない地域も、いくつかは活動内容を知りたいなど、問い合わせがあっている。

質問 地震後の復旧にも役立つ事業なので、活動されていない地域にも事業の推進をすべきではないか。

回答 中々意見がまとまらない地域もあるが、杉下地区等は来年度からでも取り組みたいとの意見もあるので、継続して事業推進をしていく。